

KYOTO BY THE SEA DMO NEWS



海の京都

京都の日本海側。
誰もが知る京都とは、ちょっと、いや、だいぶ、違う。



Vol. 28

海の京都 DMO
www.uminokyoto.jp
発行日 2022.12.9



旅先納税 「海の京都コイン」スタート!!

海の京都DMOでは、11月7日（月）から、「海の京都コイン」事業をスタートさせました。「海の京都コイン」は、旅行者等が海の京都エリア内の7つの自治体に寄附（ふるさと納税）をすると、寄附額の3割がお手持ちのスマートフォンに発行されるもので、発行された「海の京都コイン」は、海の京都エリア内の加盟店で、1円単位で利用することができるものです。

【海の京都コインの概要】

- | | |
|--------|------------------------------|
| ①名 称 | 海の京都コイン |
| ②利用期限 | 寄付いただいた日の180日後 |
| ③入手方法 | 海の京都エリア7市町へのふるさと納税の返礼品として発行 |
| ④寄付金額 | 5千円から100万円までの8段階 |
| ⑤返 礼 率 | 寄附金額の30%を電子商品券「海の京都コイン」として返礼 |
| ⑥利用施設 | 海の京都エリア内の加盟店 |
| ⑦そ の 他 | 7市町住民は対象外 |



新規登録をする

スマートフォンで専用サイトにアクセス。【新規登録】を選択し画面の案内にしたがって登録を行います。



自治体に寄付をする

ふるさと納税寄附金額を選択し、クレジットカードでお支払い手続きを行います。



加盟店で利用する

スマートフォンで海の京都コインを表示。利用金額を入力しお店の方に提示してスマートフォン画面に電子スタンプを押してもらえば利用完了です。

広域での「旅先納税」は全国初

「海の京都コイン」は、海の京都エリアの7つの市町へのふるさと納税の共通返礼品として発行します。旅行者等は、7市町のどの自治体に寄附をしても、同じ返礼品を受け取ることができ、エリア内のいずれの加盟店でも利用することができます。このように、市町域を超えて利用ができる仕組みは、全国初の取組となっており、大きな注目を集めています。

加盟店は宿泊、飲食、体験でスタート

第1次加盟店は108施設に応募いただきました。内訳は宿泊42施設、飲食38施設、体験28施設です。体験の中には、観光遊覧船、海上タクシー、レンタカー等の移動サービスや、織物体験やゴルフ場等、これまでふるさと納税の返礼品の対象になりにくかったものも含まれています。12月1日からは、さらに20施設が増える予定です。加盟店への応募を検討いただける場合は、以下をご参照ください。

ステップ1 動画を視聴

説明動画(約5分)を視聴

<https://youtu.be/M69wEsrlnSs>

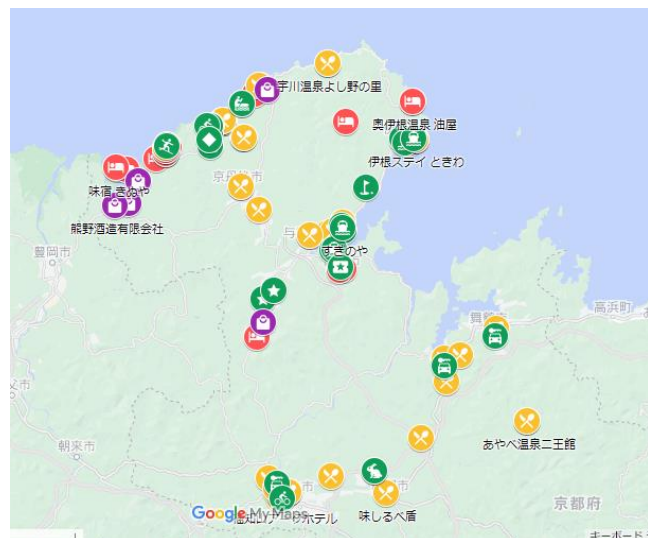


ステップ2 申込フォームからエントリー

<https://forms.gle/mNnJx8prACpEr5cs9>



※応募は随時受け付けますが、加盟店でのサービス開始まで数週間ほどかかります。



裏面へ続く



◆このニュースのメール配信をご希望の方は、海の京都DMOまでお申し込みください◆

10月11日、海外からの入国者数の上限が撤廃されるなど、政府の水際対策が大幅に緩和されました。

海の京都エリア内においても、徐々に海外からの観光客の姿が見られ、海の京都DMOにも海外の旅行会社からの問い合わせが増加しています。

人口減少が進む本エリアの成長には、インバウンド需要の取り込みは不可欠との考えのもと、海の京都DMOにおいても各種取組を進めています。

「Responsible Tourism Award」を受賞 海外旅行博（WTM）に出展

World Travel Market

11月7日～9日までの3日間、世界旅行博World Travel Marketがイギリス・ロンドンで開催され、海の京都DMOからもインバウンドに携わる3名のスタッフが参加しました。

各国が趣向を凝らした華やかなブースを出展し、会場各地でバイヤーと地域との商談、面談が行われました。

海の京都DMOにおいても、英国パートナー企業であるJapan-Sanの協力を得ながら、既に活性化しつつあるインバウンド市場へのエリアの売り込みを行いました。



WTMサステナブル事例表彰

また、海の京都DMO が Japan San と連携し取り組みを進めている、伊根舟屋等での自然・文化資源に配慮したプロモーション活動に対し、「Responsible Tourism Award（責務ある観光施策賞）」の「One to Watch（注目すべき事業者賞）」を受賞しました。



各部門受賞者による表彰式

Kyoto by the Sea & Japan-Sanを代表して、ジェシーマネジャーが登壇（前列左から4人目）

高付加価値商品の販売を目指して ATWSにも出展



アドベンチャーツーリズムを牽引する団体ATTA（Adventure Tourism Trade Association）主催のアドベンチャートラベルワールドサミットが、10月2日～6日までスイス・ルガーノで開催され、海の京都DMOより2名、森の京都DMOより1名が参加。世界中のATエージェント、メディア、各国観光局MOを含む750名が集い、ツーリズムの未来やサステナビリティをテーマに意見交換や商談会が行われました。

日本からはJNTOや来年ホスト開催地である北海道をはじめ、東北、四国、沖縄等からの参加者があり、チームジャパンで連携し、日本全体での旅程作成など意見交換を行いました。

看板商品の創出に向けて 台湾×ヴィーガン×農家民宿

観光庁の公募事業の採択を受け、綾部・福知山地域の農泊推進に取り組んでいます。これは台湾市場で需要の高まる「ヴィーガン（完全菜食）料理」を切り口に、海の京都エリアをその「ヴィーガン料理の聖地」として高めて行こうとする事業です。その取組の一環として、10月27日には講師を招き、地域の農泊事業者を対象にセミナーを実施しました。

セミナーでは、訪日旅行人気が高い台湾の歴史的背景や台湾人が好むアツアツ台湾素食などについて学びました。

本セミナーを皮切りに、モニターツアーや台湾国内へのPRを順次行い、今年度末までに旅行商品化を予定しています。



海の京都エリアは日本でも有数の e-Bike 集積地であり、風光明媚な景観と豊かな食が楽しめることから、「e-Bike の聖地」と言われています。

e-Bikeの聖地化に向けて 絶景カフェギフトキャンペーン開催中！

サイクリングに快適な秋の紅葉シーズンに合わせ、e-Bike をレンタルした方にエリア内のカフェで利用できる電子ギフトをプレゼントする『絶景カフェギフトキャンペーン』を開催中！寒くなってきましたが、温かい格好で是非参加してみてください。

期 間：令和4年10月8日(土)～12月18日(日)

対象店舗：自転車レンタル店 15 店舗 / カフェ店 20 店舗



ご利用はこちらから

今年度は、観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」を活用し、各種事業を展開しています。

e-Bikeの聖地化に向けて e-Bikeで巡る海の京都フードトレイル

株式会社あさひ（本社:大阪市）、中丹広域振興局と連携し、e-Bike×食（文化など）にまつわるツアーを造成し、株式会社あさひによるガイド付きツアーを開催。また、京阪神地区の一部店舗で今回のコースや地域の魅力を発信する冊子も配架するなど海の京都の魅力を発信中です。

- 10月23日 明智光秀が築いた福知山城と別腹スイーツ サイクリングツアー（福知山市）
- 12月10日 かまぼこづくり体験とシーサイドサイクリング（舞鶴市）
- 11月23日 E-バイクで巡る奥京都、綾部林道と国宝二王門（綾部市）
※荒天のため中止
- 11月12日 与謝野の郷土文化体験と天橋立ぐるっとサイクリングツアー（宮津市・与謝野町）
- 10月29日 久美浜湾一周&夕日ヶ浦絶景サイクリング（京丹後市）



株式会社あさひが運営するHP「ちりりん」をご覧ください。

京の料理人も驚く 世界標準の食材 海の京都食材試食&交流会を開催

海の京都の魅力的な食材をエリア内外の料理人にアピールするとともに、食材生産者と交流及び商談する機会を創出し、海の京都エリア全体の食の魅力向上に貢献することを目指して、試食&交流会を開催しました。

海の京都食の総合プロデューサーである飯尾醸造・飯尾彰浩氏及び「京都美食めぐり 2022 秋」を開催されている株式会社どこ・いこの西村康浩氏との連携により、京都市内の新進気鋭のシェフ3名を招き、海の京都の食材を使ったメニューづくりに挑戦していただきました。

今後の展開へとつながる可能性を感じた有意義な1日となりました。

- 日 時 令和4年10月19日（水）
午後2時～午後4時
- 場 所 aceto（アチエート）
（宮津市字新浜 1968）
- 内 容 京都市内の料理人と海の京都エリアの料理人及び食材生産事業者による試食会・交流会



●海の京都エリアの生産者及び食材

- 寒山拾得 清水祐輔氏 / ジビエ（鹿）
- (株)創造工房 早川雅英氏 / フルーツガーリック
- 与謝野ホップ生産者
藤原ヒロユキ氏 / ホップ
- (株)KOMOIKEあずき
松山義宗氏 / 薦池大納言
- ほどほど屋エイト
高山真純氏 / 和がらし
- (株)京都宮津オリーブ
安田裕美氏
/ オリーブオイル・オリーブ・オリーブバター



丹後郷土資料館のさらなる活用を目指して Innovate MUSEUM事業を受託

京都府立丹後郷土資料館から、地域の文化・文化財の新たな魅力の発見・発信を通じた博物館の機能強化を目指す「Innovate MUSEUM」事業を受託。

10月5日～11月14日にかけて、旧永島家住宅、国史跡丹後国分寺跡や地域の文化財に焦点をあてた文化芸術イベント等を開催しました。

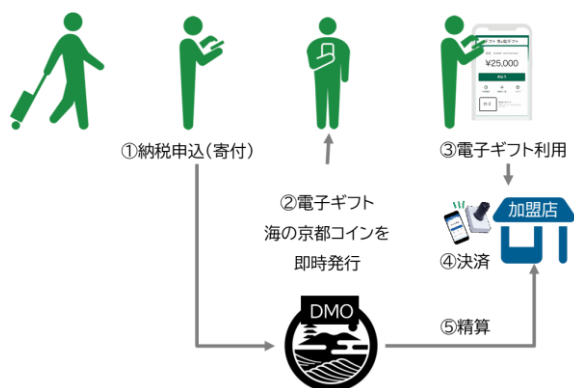


国分寺跡景観俯瞰体験

海の京都コインスタート特集

**決済は電子スタンプ一つで
決済状況もリアルタイムで把握可能**

店頭での決済は電子スタンプ一つで行えますので、デジタルが苦手という方でも簡単に操作することができます。また、決済状況は、お手持ちのスマートフォンやパソコン等でリアルタイムに確認することができます。なお、海の京都DMOにおいても、同時に把握していますので、加盟店からの請求事務は一切不要です。（当月末日までの決済を翌月末日までに振込）



**決済手数料は無料。
なおかつ、+10%を上乗せしてお支払い**

加盟店での決済手数料はかかりません。また、海の京都コインは、タビ前だけでなく、タビナカで納税していただくことを狙うものなので、加盟店におけるお客様への事前告知や来訪者に対する店頭でのプロモーションが「肝」となります。このため、プロモーションへの協力費として、決済金額に10%を上乗せしてお支払いすることとしています。（店頭で3,000円の決済をされた場合、DMOから加盟店へは3,300円をお支払い）この取組は、令和5年度末まで継続します。その後の取扱いについては、その効果を踏まえて判断する予定です。



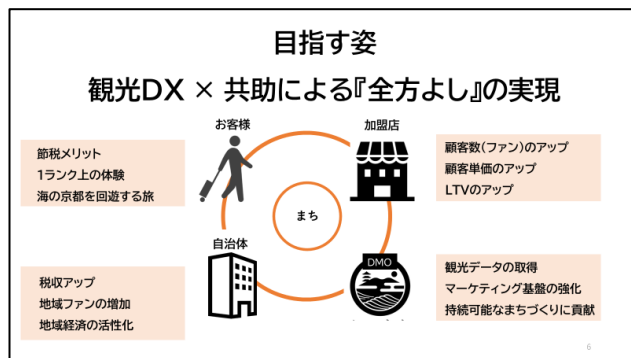
電子スタンプを押して決済(システム機器不要)
自動精算(請求書の発行など不要)

決済手数料無料、決済額に+10%支払い

※令和5年度まで実施予定

全方良しの取組

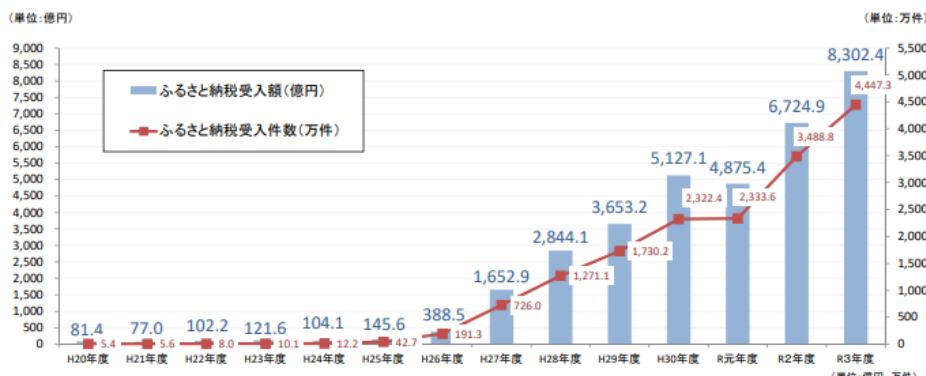
旅行者等の寄附はお住まいの自治体の収入となり、旅行者はワンランク上の旅を演出し、事業者には売り上げとして反映します。DMOにおいては、消費データを把握し、地域の事業者様の参考資料として提供します。まさに、この事業に携わるすべての方にメリットのある取組です。通常の事業活動をしなから、地域に貢献できる仕組み。それが海の京都コインです。海の京都エリアの活性化に向け、引き続き努力してまいりますので、是非、皆様のご理解とご支援をお願いします。



KYOTO BY THE SEA Data Box

ふるさと納税の受入額及び受入件数の推移(全国計)

- ふるさと納税の受入額及び受入件数(全国計)の推移は、下記のとおり。
- 令和3年度の実績は、約8,302億円(対前年度比:約1.2倍)、約4,447万件(同:約1.3倍)。



ふるさと納税の受入額は、返礼品基準が厳格化された令和元年度を除き、ここ数年右肩上がりの状況が続いています。

また、令和3年度にふるさと納税を行った方は、対前年度比1.3倍の約741万人となっていますが、これはふるさと納税が利用できる対象者の約12%程度に止まっています。

このため、ふるさと納税は、今後も伸びる可能性の高い「市場」と言うことができると考えています。

編集・発行者

一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社
海の京都DMO
〒629-2501 京都府京丹後市大宮町口大野226
京丹後市役所大宮庁舎内
TEL:0772-68-5055 FAX:0772-68-5056
MAIL: info@uminokyoto.jp